

する地域省エネルギービジョン策定事業へ応募の検討は。

①プロジェクトの趣旨に従い、取り組んでいく。

②評判のよい制度と聞く。改めて学校に紹介していく。③NEDO事業を活用した省エネ・新エネルギービジョンの調査・研究をしていく。

― 狛江のシンボル―  
― 井財天池緑地保全地区の活用について

①指定から20年が経過。昨今、憩いの場としてさらに有効活用できないかとの意見を多く耳にする。管理体制・管理方法は②法の厳しい規制があることは承知している。環境保全は理解するが、土日開放を含め、東京都が指定する保全地域と同様の扱いはできないか。

①「市民の会」と管理協定を締結し、管理運営を行っている。閉鎖区域の一般開放は、月一回開放している。目的次第で随時開放もしている。②保全・活用の両面を見据えて、制限内容や制度の運用などについて研究していく。

①52・6%②設立認可取り消し③15区7市が制定

①52・6%②設立認可取り消し③15区7市が制定。商工会から制定の要請書を受取り、他地区での効果や成果を把握し、研究する④基金の必要性は感じ、積み立ては諸事情を見据え、対応⑤農地保全から有効と考えるが、農業者が農業経営の一つとして取り組むか課題。

産業振興について

①商工会組織率は②50%を切った場合の影響は③PRが重要。さらに、産業振興条例の制定も一助になる。他市の状況、商工会の意向、市の方向は④緑の保全・再生には緑化基金の充実が重要。認識は⑤農業体験農園の課題は。

①81年の生活保護の適正実施についての厚生省通知は、戦前の救貧制度に近づけるもので、保護改革の第1弾として基準引き下げ、母子加算・高齢加算廃止である。この影響は、②生活保護改革第2弾として06年手引を出したが、運用については考えるべきでは。

①母子加算世帯は27世帯。老齢加算については、18年度に廃止。相当な影響が出ると思われる。②内部で調整し、状況に応じた運用となる。

①改悪介護保険により、4月からベッドが使えなくなる人への援助は単年度限りで、今後の対応策は、②年金暮らしの人から介護保険料だけは天引きされるが、低い年金からは利用料が払えない人が多いがこの対策は、③寝たきりのおむつ代を入院者にも利用を。

― 田岡 恭子

高年齢者介護について

①改悪介護保険により、4月からベッドが使えなくなる人への援助は単年度限りで、今後の対応策は、②年金暮らしの人から介護保険料だけは天引きされるが、低い年金からは利用料が払えない人が多いがこの対策は、③寝たきりのおむつ代を入院者にも利用を。

①制度の円滑移行と在宅生活の継続を目的とした措置。今後も改善すべきものは国へ要望していく。②「社会福祉法人による利用者負担軽減事業」を活用していく。③在宅高齢者支援目的であるが、ケースごとに柔軟に対応していく。

①3・4・17号線は用地買収9割完了。狛江通り小田急線付近は今年度完了予定。緑野小から西は平成23年度完成目標②都に要望する③残る東側部分に移設する。④用地買収は2割強完了⑤都に働きかけたい⑥再度、拡幅工事に合わせ小田急バスに要請したい。

①義務教育就学児医療費助成事業はぜひ実施を。②猪方前原学童は借用期限後も継続使用を。③保育園のFAX設置と電話の改善を。④オリーブの設置を。⑤洋式トイレの設置等計画的に改修を。⑥消耗品費の増額を。⑦網戸設置は、園と保護者の意見を聞いて対応を。

生活保護制度と行政について

①81年の生活保護の適正実施についての厚生省通知は、戦前の救貧制度に近づけるもので、保護改革の第1弾として基準引き下げ、母子加算・高齢加算廃止である。この影響は、②生活保護改革第2弾として06年手引を出したが、運用については考えるべきでは。

①19年度予算編成の中で検討。②関係する部と協議していく。③努力する。④ス

①母子加算世帯は27世帯。老齢加算については、18年度に廃止。相当な影響が出ると思われる。②内部で調整し、状況に応じた運用となる。

①改悪介護保険により、4月からベッドが使えなくなる人への援助は単年度限りで、今後の対応策は、②年金暮らしの人から介護保険料だけは天引きされるが、低い年金からは利用料が払えない人が多いがこの対策は、③寝たきりのおむつ代を入院者にも利用を。

― 西村 あつ子

交通問題について

①都市計画道路3・4・17号線と狛江通りの見通し。②3・4・17号線の部分開通等は、意見を十分に聞いて対応を。③田中の池児童公園の利用は、④狛江通りの進捗状況は、⑤ベンチ等の設置を。⑥バス停の新設を。(緑野小学校と狛江営業所間)

①3・4・17号線は用地買収9割完了。狛江通り小田急線付近は今年度完了予定。緑野小から西は平成23年度完成目標②都に要望する③残る東側部分に移設する。④用地買収は2割強完了⑤都に働きかけたい⑥再度、拡幅工事に合わせ小田急バスに要請したい。

①義務教育就学児医療費助成事業はぜひ実施を。②猪方前原学童は借用期限後も継続使用を。③保育園のFAX設置と電話の改善を。④オリーブの設置を。⑤洋式トイレの設置等計画的に改修を。⑥消耗品費の増額を。⑦網戸設置は、園と保護者の意見を聞いて対応を。

①19年度予算編成の中で検討。②関係する部と協議していく。③努力する。④ス

ペースの問題もあり調整していく。⑤改修に向け対応していく。⑥努力していく。⑦調査し可能ならば設置していく。

①弁当給食事業は、事情のため希望者に弁当を給食するもので、ボックスランチは、教育の一環として市教委が献立、調理等指導管理を行うもの②栄養士を配置して健康や食、友達や先生との語り合いを大切にしたいものにする。説明会を行う。

― 藤田 鋭

中学校給食について

①平成20年度より実施される中学校給食の「ボックスランチ方式」とはどのようなものか。現在行われているお弁当給食とは、質的にどこがどのように違うのか。②栄養面での質の確保や食の教育、保護者等への説明をどのように考えているのか。

①主に集中的に展開した都市基盤整備の起債、高利のものもあるため償還額が高くなっている。②現年度分0・9%増、滞納繰越分5%増、合計1・4%増となっている。③地域の安全・安心という視点を踏まえて補助のあり方を再検討する必要がある。

①都補助金の絡みで、委託は18年度までの3年間。今後の継続については、いい方法を探っていく。②条件整備等の諸問題から、市内の現状規模の公園施設では、ドッグランの

①都補助金の絡みで、委託は18年度までの3年間。今後の継続については、いい方法を探っていく。②条件整備等の諸問題から、市内の現状規模の公園施設では、ドッグランの

を、二部では委員長が5つのアプローチについて説明した。

①狛江市の経常収支比率を押し上げている最大要因は借入金返済だが、これが高い原因は何か②11月までの市税の徴収率は昨年同月と比べてどうか③町会などへの補助金について、地域の安全・安心のために果たしている役割を踏まえて考えるべきではないか。

― 田辺 良彦

財政基盤確立のための取り組みについて

①主に集中的に展開した都市基盤整備の起債、高利のものもあるため償還額が高くなっている。②現年度分0・9%増、滞納繰越分5%増、合計1・4%増となっている。③地域の安全・安心という視点を踏まえて補助のあり方を再検討する必要がある。

①適正に管理されない猫飼いの多い点で、「地域猫」活動委託事業を何とかして継続していただきたいが、どうか。②ドッグランの設置を求め、市民要望があることについて、以前に提起した。その後の市の検討状況はいかがか。

①都補助金の絡みで、委託は18年度までの3年間。今後の継続については、いい方法を探っていく。②条件整備等の諸問題から、市内の現状規模の公園施設では、ドッグランの

①都補助金の絡みで、委託は18年度までの3年間。今後の継続については、いい方法を探っていく。②条件整備等の諸問題から、市内の現状規模の公園施設では、ドッグランの

設置は難しいと考える。③協力し相談に乗っていく。

①需要や行事の精査、パソコンの導入、部活への外部指導員制度の充実などを行いながら、教員が児童・生徒と向き合える時間をふやせるよう努力していく②学力テストは授業改善に反映させることが主目的、学校ごとの成績発表はしない。

― 鈴木 えつお

障害者自立支援法について

①需要や行事の精査、パソコンの導入、部活への外部指導員制度の充実などを行いながら、教員が児童・生徒と向き合える時間をふやせるよう努力していく②学力テストは授業改善に反映させることが主目的、学校ごとの成績発表はしない。

①障害者自立支援法で、市内の通所施設では、利用者負担が4月から月3万円近くになるなど不安が広がった。市が実施した負担軽減策の状況は②通所施設も毎月数十万円の赤字が続いており、今後の支援策は③カレーショップなど精神障がい者の就労支援は。

①ホームヘルプサービスで対象者33名のうち25名、ショートステイの対象者16名のうち7名、デイサービスは対象者1名で利用者1名。通所施設の利用料と昼食代減額は25名で100%の利用等。②状況を見

①ホームヘルプサービスで対象者33名のうち25名、ショートステイの対象者16名のうち7名、デイサービスは対象者1名で利用者1名。通所施設の利用料と昼食代減額は25名で100%の利用等。②状況を見

きわめ必要な判断をする。③協力し相談に乗っていく。

水道道路のミニバスなどで交通不便地域が大きくなる解消されたが、南北直通のバス路線や公共施設・商店街・病院等を回る路線などまだ不十分で、市民総合体育館など南部地域からは利用しにくい。現在の福祉バスをコミュニティバスに発展させてほしいがどうか。

― コミュニティバスの運行について

放課後の子どもの安全と成長について

水道道路のミニバスなどで交通不便地域が大きくなる解消されたが、南北直通のバス路線や公共施設・商店街・病院等を回る路線などまだ不十分で、市民総合体育館など南部地域からは利用しにくい。現在の福祉バスをコミュニティバスに発展させてほしいがどうか。

政府の放課後子どもプランでは、児童保育所を全国5900カ所ふやす一方、放課後子ども教室を同じ学校内で一体的または連携して行うとしている。そのため児童保育所廃止への不安が出ている。両事業はそれぞれ目的に沿って充実・発展させるべきと思うがどうか。

児童保育所を廃止ということではないが、いい形で放課後対策を検討してきた

児童保育所を廃止ということではないが、いい形で放課後対策を検討してきた

